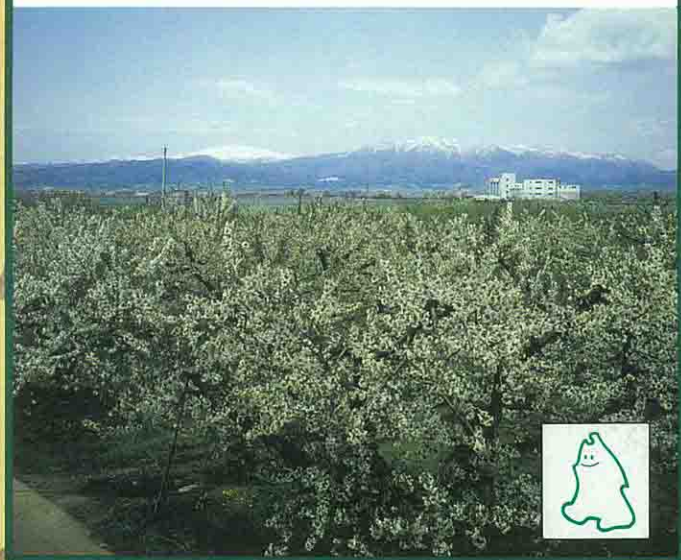


NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA
新・奥の細道

一周ルート
⑬

大ケヤキとフルーツのみち

Okeyaki-to-fruthu-no-michi



山形県

周辺の
アクセス
ガイド

- 東根駅までは
・JR山形駅より車で30分。
- 山形空港より車で5分。
- 天童市小原までは
・JR天童駅より車で10分。



観光・宿泊のお問合せ	東根市観光協会 〒999-37 東根市中央1-1-1	☎0237-42-1111
	天童市観光物産協会 〒994 天童市本町1-1-1	☎0236-53-1680
交通のお問合せ	JR東根駅 〒999-37 東根市大字東根甲番外地	☎0237-42-0024
	山形交通天童管理センター 〒994 天童市鎌田2-4-16	☎0236-53-2371
コースのお問合せ	東根市商工観光課 〒999-37 東根市中央1-1-1	☎0237-42-1111
	天童市商工観光課 〒994 天童市老野森1-1-1	☎0236-54-1111
	山形県環境保護課 〒990-70 山形市松波2-8-1	☎0236-30-2207

表紙の写真は、フルーツライン

みどころ案内
GUIDE

若宮八幡神社

Wakamiya-hachiman-jinja

若宮八幡神社は、正平2年(1347)、東根城主小田島長義の創建といわれ、鎌倉の鶴ヶ岡八幡を遷座したもので、昔から東根の総鎮守として広く信仰をあつめている由緒深い神社です。毎年8月の風祭には大々神楽が奉納されます。



※遷座…神体を他の場所にうつすこと。

若宮八幡神社

東の杜資料館

Higashi-no-mori-shiryokan

昭和62年横尾家において、地域文化発展の一念から遊休倉の再開発に着手し、その後東根市の資料館として活用することになりました。

東根城三の丸に位置する横尾家は、山形城主最上義光の家老長谷堂城主志村伊豆守を先祖とし、元和8年最上家の改易後現在地に移り、代々郡中総代名主を勤め、明治21年に酒造業を興しました。

『東の杜』は、東に御所山、西に葉山・月山・朝日連峰を望み、東根の美しい自然の中で、様々な果実を実らせる木々に包まれて立つ東根市の歴史民俗資料館です。



東の杜資料館

さくらんぼ生産量日本一を誇り、佐藤錦発祥の地として果樹王国ひがしねの名にふさわしい四季折々の果実を満喫でき、春には果樹の花が一斉に咲き誇りまさに桃源郷を想像することができます。

また、東根城本丸跡には国指定特別天然記念物「東根の大ケヤキ」の巨木があり、周辺には東根城跡など古代歴史のロマンを感じることができます。終点の天童市小原もいろいろなくだものが栽培されている果樹園地で、春には色とりどりの花が咲き乱れます。

東根の大ケヤキ

Higashine-no-okeyaki

東根小学校正面玄関前に『ケヤキ』の巨木がある。

この地は、正平2年(1347)に、小田島長義が築いた東根城(小田島城)の本丸跡にあたり、その昔『雄槻』『雌槻』と呼ばれた2本の大ケヤキがあったが明治18年ちちケヤキが枯れてしまい、ははケヤキだけが残っています。



樹齢1,500年以上で、主幹は、地上5.5mの高さで大きく2股に分かれ、西南側のものがやや直上して枝を分け、東側も大きく3枝を分けて天空をおおい、その高さは約28mに達します。

国指定特別天然記念物
東根の大ケヤキ

黒鳥観音

Kurodori-kannon

享保年間(1720頃)、龍興寺の住職・崇容和尚が発願して観音堂を再建したとの伝えがあり、堂内部には壁面から天井まで、寸分の余地なくびっしりと『むかしばなし』が奉納されています。この絵馬は、未婚のまま死んだ自分の子供が結婚適齢期を迎えたとき、夫婦の絵馬を奉納し、あの世での幸せを観音様に願ったもので、また、板に画いた観音普門品詞の絵馬も目を引きま



黒鳥観音

磨崖仏

Maganbutsu

大森山南山麓の側に、凝灰岩の大きな岩があり、その岩に上下二段の仏像が浮彫りにされています。鎌倉時代末期の県内最古の磨崖仏です。

岩質が軟らかくもろい上に、長らく風雨にさらされたので、よく容姿を見分けることができない程に風化していますが近年、覆堂が設けられました。

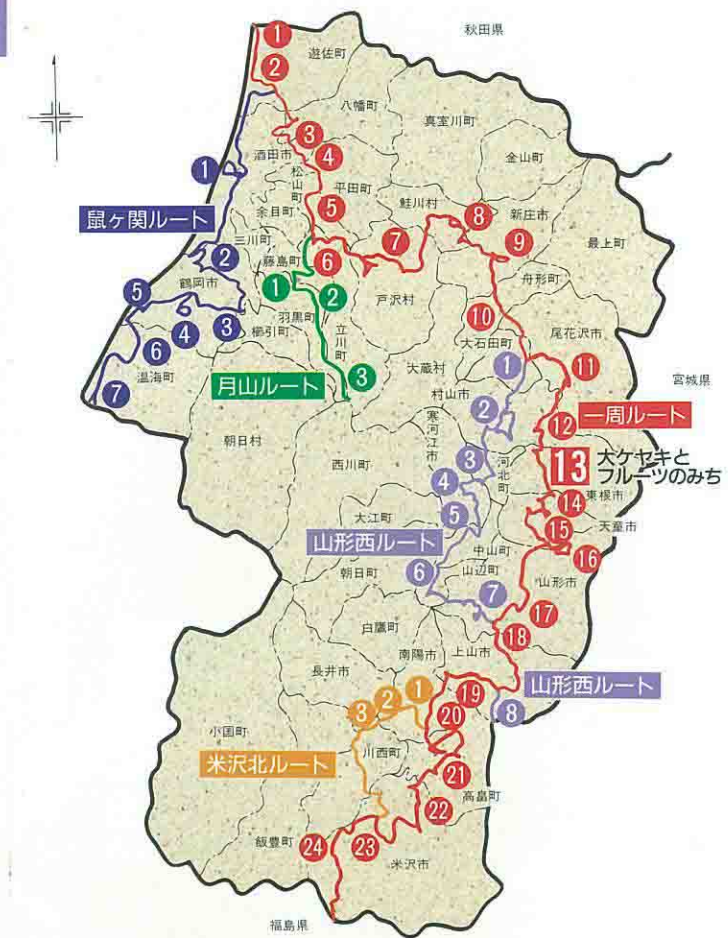


大森山磨崖仏

上段の五体は五智如来と推定されますが、仏体の持ち物が不明瞭なために確認は難しく、いずれも色彩が施された跡が見られます。下段には六地藏が刻まれています。

YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



"新・奥の細道"とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

"新・奥の細道"は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で經由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この"新・奥の細道"は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

この"新・奥の細道"を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
 2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
 3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
 - ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
 - ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
 - ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元元融資を受けてつくられました。